

テキスト

ブログで Web ページを作ろう！

第 1 章 はじめに

1.1 ブログは誰にでも作成できる新しい Web ページ

ここ 2 年ぐらい(2006/03 現在)で「ブログ」は急速に普及し、今では、新しい Web(ウェブ)ページの一形式としてますます広まっています。しかし、インターネットの世界ではこのような新しい流れが出てきていますが、ふだんあまりインターネットに携わっていない方のなかには、「最近テレビや雑誌などで見聞きするけれども、いったいブログって何？」

と、疑問に思われている方も多いいことでしょう。おそらく、このテキストを今読んでいらっしゃる方のなかにも、ブログについては今ひとつよくわからない、と思っている方も少なくないのではないのでしょうか。

ところで、Web(ウェブ)ページとは？ 一体なんでしょうか？ 一般にホームページと呼ばれているもののことです。Web ページのことを、日本ではいつのころからか、間違っってホームページと呼ぶようになりました。このテキストでは、ホームページという呼称に代えて Web ページを使います。そのほうが国際的には一般的だからです。

さて、このブログですが、正式な名前は Weblog(ウェブログ)といいます。日本語に訳すと、「Web の記録」です。簡単にいえば、記事をどんどん書いていくと、各記事がデータベースのようにカテゴリーやアーカイブなどと呼ばれるグループ単位で蓄積されていく、テキスト記録型の Web ページなのです。「Weblog」が、日本では「ウェブログ」となり、さらに「ブログ」になったというわけです。今では、「ブログ」という用語が普通に使われています。

ここでいきなりブログの解説を始めてもおそらくわかりにくいでしょうから、従来の Web ページと比較しながら説明しましょう。

たとえば、皆さんが Web ページを作成したいと思い、知人などに「どうやって作成すればいいの？」と聞くと、「Web ページ制作ソフトを買わないとダメなんだよ」とか、「お金を払って、プロに作ってもらうのがいいよ」などという答えが返ってきたことはありませんか。実際に筆者の周りには、インターネットはメールくらいしかできないという人も多いいので、Web ページを制作するのは難しくてお金もかかると思っている人が少なくありません。

そうなのです。従来の Web ページは、HTML 言語や XML 言語で記述したり、Web ページ制作ソフトを使ったりして作成しなければなりません。後述しますが、情報発信をするために従来の Web ページを制作するユーザーは特別な知識やソフトの操作の習得が求められたのです。

一方ブログはというと、

- ・ Web ページ制作ソフトは一切不要
- ・ HTML などの難しい知識も一切不要
- ・ ほとんど無料
- ・ インターネットに接続できる環境と、ちょっとした意気込みがあればすぐに始められる
- ・ 更新作業は記事を入力するだけ
- ・ デザインはいつでも気軽に着せ替えられる

という、とにかくおいしい特徴がたくさんあるのです。

従来の Web ページは、もちろん今でも健在ですし、これからも健在です。しかし、ブログが普及しても、Web ページと呼ばれないのは、やはりブログが従来型の Web ページとは一味違うからなのです。

ブログの詳細や、このほかのたくさんの利点については、順を追って紹介していきますが、まずは、ブログは、簡単に作成できる新しい Web ページの一種であると理解しておきましょう。

1.2 従来の Web ページ製作とメンテナンス

従来の Web ページとブログは、具体的にいったい何が違うのでしょうか。簡単にいいますと、従来の Web ページは、複数のページをリンクしてひとつのまとまり Web サイトを構成していました。一般的には、情報ごとにページを作成する必要がありました。また、デザインを作りながら、その中にテキストや画像も埋め込んでいかなければなりません。たとえば、Web ページに毎日の日記を書くとなると、次のような手順を踏みます。

Web ページ制作ソフトを起動する

デザインを作成する。その中に必要なテキストを入力する

他のページとリンクを作成する。

ファイルを保存する

インターネット上の Web ページサーバへ作成した HTML ファイルをアップロードする

これだけの手順を実行するには、それ相応の手間と時間がかかります。もちろん、特別なプログラムを組み込んで、こうした手順を楽にする方法もないわけではありませんが、それには特殊な知識が必要です。

この作業の流れに慣れてしまうと、作業そのものは早くなりますが、手間と時間がかかることは否めません。とくに、忙しい人にとっては、いったん Web ページを作って公開しても、更新作業となると面倒になり、Web ページが更新できないという状況に陥ってしまうのが普通です。

手間暇がかかる以外にも、デザインとテキストを 1 つのファイルで表現しなければなりませんから、「面倒くさい」とってしまう人も少なくありません。1 ページを作成するにも、ページの背景の色や柄、文字の大きさ、図の配置などを考えながら、必要な場所にテキストを入力していかななくてはならないからです。

つまり、なにか情報発信をしようとするとき、デザインも含めてページを作らなければならないのは、Web ページ制作作業を苦手だと思っている人にとっては、非常に負担となる作業です。

1.3 使い手に優しいブログの形

ブログは従来の Web ページの煩わしさをすべて解消してしまいました。前項でも述べたように、Web ページ制作ソフトも HTML の知識もいらぬのが、なんといっても非常に大きなポイントです。

インターネットに接続できる環境があり、Internet Explorer のようなブラウザで Web ページを開ける人なら誰でもブログを始められます。インターネットで提供されるブログサービスを利用すると、ブログのページ制作からテキストの入力まで、すべてブラウザから実行できます。そのため、自宅のパソコンを使わなくても、会社でも、インターネットカフェでも、友人の家でも、どこでも作業ができ場所を選びません。

さらに、大手プロバイダや独自のブログサイトでは、「無料ブログサービス」を提供しています。プロバイダは、自分が加入しているプロバイダでなくてもかまいません。会社によって多少ちがいますが、基本的に無料で利用できます。しかも、ユーザー登録さえすれば、今すぐにも利用できます。

こういった手軽さが受け、これまで Web ページ制作に挫折した人も、Web ページ制作に手が出なかった人も、すんなりとブログを始められるようになったのです。

こうしてブログは、一気に新しい Web ページの形として普及しました。

さらに、ページのデザインを気軽に着替えられるというのも普及した要因の 1 つです。前述したように、従来の Web ページはデザインの中にテキストを埋め込んでいくという作りであるのに対して、ブログではデザインとテキストが完全に切り離されています。最初にデザインを設定したら、あとはメール感覚で記事を入力していくだけで OK なのです。

たとえば、日記ならば、決められた投稿フォームに日記を書けばよいのです。このとき、デザインのことは一切考える必要はありません。テキストをどのように入力しようとも、最初に設定したデザインは決して崩れません。さらに、デザインに飽きたり、季節変更したりしたい場合には、別のデザインを設定すればよいだけです。その設定方法はとても簡単です。デザインを変更しても、これまでに書いたテキストはなんの影響も受けません。ただ、ブログではデザインがテキストから独立していますから、デザインにはテンプレート(ひな形)として用意されているものを利用しなければなりません。もちろん、詳しい知識があれば、テンプレートを自分流に変更(カスタマイズ)できますが、基本的にはあらかじめ用意されているものを使用します。しかし、安心してください。最近はこのブログサイトも、たくさんのデザインテンプレートを用意していますし、それぞれ洗練されたデザインですからきっと気に入るものがあるでしょう。

さて、少しだけブログというものが身近になったでしょうか？

でも、これはまだ序の口。ブログのよさは、まだまだあるのです。次項では、別の視点からブログを紹介しましょう。

1.4 ブログが広がったもう 1 つの理由

前項で述べたとおり、ブログは使い手にとても優しく、それが普及した大きな要因です。しかし、ブログがここまで普及したのには、実はもう 1 つ理由があります。

従来型の Web ページにないブログの大きな特徴として、読者とコミュニケーションを図りやすいといった点があります。その代表としてあげられるブログの機能が、「コメント」と「トラックバック」です。専門用語の具体的な解説は後述するとして、この 2 つの機能によって実現した読者とのコミュニケーションのとりやすさは、従来型の Web ページに比べて、格段にアップしています。コメントとトラックバックについては、ここではこのように理解してください。

- ・ コメント 読んだ記事に、感想や意見などを書き入れる機能
- ・ トラックバック 他のブログサイトと自動的にリンクする機能

この 2 つの機能を従来型の Web ページと比較してみましょう。

(1) コメント機能が読者との距離を縮めた

従来型の Web ページで、読者とコミュニケーションを図るのは、なかなか困難でした。

というのは、たとえば、Web ページに書かれた日記を読んだ読者が、内容に共感して感想を述べたいという気持ちになったとき、その気持ちを伝える手段は、「Web ページの管理者にメールを書く」か「備え付けの掲示板を書く」くらいしか方法はありませんでした。

感想を書くのに、メールという手段を用いるのは、読者としてはなかなか勇気がいるものです。どうしても伝えたいという内容があり、その気持ちがよほど強くないとなかなか書けません。そのため、従来型の Web ペー

ジでは、書き手が書いたものを読者は単に読むだけ、つまり一方通行になってしまいがちでした。

それを解消するのが、「掲示板」と呼ばれる、ブラウザ上で読者が自由に感想などを書き込めるページです。これは、書いた内容がすぐに画面に反映されますから、複数の読者が掲示板に書き込むことで1つの会話が成立し、コミュニケーションを図るしくみです。読者と積極的にコミュニケーションをとりたいと願う Web ページ管理者は、Web ページに掲示板をリンクさせています。

しかし、どちらも、やはり慣れないと気軽に利用できません。

一方、ブログのコメント機能は、記事そのものに対する感想などをその場で書き込むことができます。記事の下に「コメント」と表示されていますから、読者はこれをクリックするだけで、すぐに書き込みできます。

手軽に書き込みができることに加え、記事1つ1つ（たとえば、4月10日の日記、4月11日の日記ごと）に対してコメントを書くことができ、記事の内容に密着した感想がとても書きやすいのです。書き込まれたコメントに対しても、管理者は同様な方法ですぐに返信できます。

このように、ブログは、読者に感想などを積極的に書いてもらえるしくみ「コメント」を搭載しているのです。

(2) 私のブログも見に来て！ リンクの許可をとらなくてもリンクができる

ブログのトラックバック機能は、理解するのに少し時間がかかるかもしれません。ここではとりあえず、「自動リンク」と覚えてもらえばよいでしょう。

従来型の Web ページには、「リンク集」という名前で、他のサイトへのリンクを集めたリンク専用のページが設けてあるのが普通でした。自分の Web ページから他人の Web ページへリンクする場合、一般的なマナーとして、リンクを設定する前に相手の Web ページの管理者に許可をとる必要がありました。そのため、リンクをはるのに「許可をとる」という手間が生じます。また、テーマの違う Web ページをリンクしたいと思っても、相手が許可してくれなかったらリンクできなかったのです。

その点、ブログでは、他のブログサイトのリンクを、基本的には、相手の許可なしに張ることができます。これがトラックバック機能です。これまでの、許可をとるという手間が、ブログの標準機能によって簡略化されてしまいました。

ただし、このトラックバックという機能で可能にリンクは、記事に対するリンクに限られます。たとえば、他人のブログを読んでいて、気になる記事があったとしましょう。それと同じようなことを自分も書きたいと思ったときには、その記事の「トラックバック URL」をコピーします。そして、自分のブログでそれに関する記事を書く際に、トラックバック欄に、コピーしたトラックバック URL を貼り付けていくのです。これでリンクは完成します。

通常のリンクと違うのは、トラックバックした相手のブログから、自分のブログにリンクを張ることになる点です。つまり、トラックバック先のブログの読者が記事を読んだとき、トラックバック URL をクリックすると、あなたのブログサイトへジャンプするわけです。こうして読者は、別の人々のブログに飛んで別の視点で書かれた意見を読むことができるようになります。

1つの記事ごとにトラックバックによるリンク設定ができますから、意見を共有しやすいのが特徴です。ブログサイトが互いにリンクしあうことで、ブロガー同士のつながりができます。また、読者もその場でトラックバック先へ移動できるので、トラックバックを設定すると、トラックバック先のブログの読者を自分のサイトへナビゲートできます。ただ、相手のブログから自分のブログへリンクする形になるトラックバックを好まない人もいます。むやみやたらな関連性のないトラックバックはおすすめできません。とはいえ、これによってブログの記事の連携ができることは確かなので、従来型の Web ページではなかなか得にくかった読者数も、ブログであれば増やしやすいといえます。

1.5 ブログが注目される理由

さて、これまでの説明で、ブログが利用者にとっても読者にとっても優しく、また、両者それぞれにメリットをもたらす Web ページの形であるとわかっていただけたと思います。同時に、ブログは、読者や他のブログサイトとのコミュニケーションがとりやすい Web ページの一形式ですから、ブログが短期間でこれだけ普及した理由もなんとなくわかっていただけたのではないのでしょうか。

さて、「今、なぜブログなのか」ということの解説はこれくらいにして、次に、代表的な「ブログ」を見てみましょう。その前に、ここでブログの特徴をまとめておきましょう。

ブログの特徴

- ・ ほぼ無料で利用できる
- ・ Web ページ制作ソフトが不要
- ・ デザインをわざわざ考えたり、気にしたりする必要がない
- ・ デザインは、用意された中から好きなものを選択できる
- ・ デザインをいつでも自在に変更できる
- ・ メールを書く要領で記事を書けばよい
- ・ 画像もアップできる
- ・ 読んだ記事の感想を簡単にコメントとして書くことができる
- ・ コメントに返信もできる
- ・ 他のブログサイトの気に入った記事を自動リンクできる
- ・ ブログ管理者は他のブログサイト管理者や読者とコミュニケーションがとりやすい

1.6 ブログはアフィリエイトに適している

アフィリエイトとは、メーカーなどの EC ショップと提携して、Web ページで商品を紹介するしくみです。紹介した商品が売れた場合、ショップから成果報酬が支払われます。最近、これを副業とする人が増えてきています。アフィリエイトの詳しいしくみは第 4 章で紹介しますが、結論を先にいってしまうと、努力なしではアフィリエイトは儲かりません。Web ページを経由して商品を買ってもらうのなら、よりたくさんの人に Web ページの存在を知ってもらう必要があるでしょう。また、商品情報を Web ページに記録し続けなければ意味がありませんから、やはり手間がかかります。

さらに、アフィリエイトを実行するには、通常 ASP（アフィリエイト・サービス・プロバイダ）を経由して業者と提携しなければなりません。その際、簡単な審査があります。このとき、アフィリエイト専用サイトをもっていないと、審査は受けられません。

こういう点から考えると、アフィリエイトを実行するにはサイトをわざわざ構築しなければなりませんから、決して簡単とはいえませんね。しかし、ブログの登場によって、アフィリエイトは非常に身近になりました。ブログは、前項でもお話ししたように、簡単にサイトを開設できます。また、ブログで提供されている機能によって、読者を増やしやすのも特徴です。ブログは検索エンジンにもヒットしやすいので、従来型の Web ページに比べると、読者を増やすことは簡単なのです。

また、たとえば、毎日商品をアップするとしても、わざわざ Web ページ制作ソフトを起動しなくても、ブラウザで記事登録画面を開けば作業ができ、手軽です。このような「手軽、簡単、すぐに始められる」といったブログの特徴から、ブログはアフィリエイトをするのに最適なツールといえます。アフィリエイトは初めてで、右も左もわからない初心者でも、まずは見よう見まねでアフィリエイトをやってみようと思いついたとき、ブログなら気軽に始められます。ブログならとにかく記事を積み重ねていけばいいので、無理なく続けることができます。さらに、無料で利用できますから、アフィリエイトを始めるのにお金はかかりません。

以上のような理由から、あなたがアフィリエイトを始めようと思っているなら、ブログをおすすめします。

(つづく)